

令和6年度当初予算への要望

【地域要望】

令和5年8月21日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会自民クラブ議員団 令和6年度当初予算への要望一覧

【挙母地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	崇化館	豊田市駅東口及び西口拠点施設の整備	豊田市駅周辺は、様々な集客施設があり、多くの人達の笑顔や楽しい会話が聞こえる。賑わいや魅力的な空間が広がる広場を含む駅東口整備はウォーカブルな空間特性を生かし、そこに集客力、滞在時間や癒しのオアシス空間としての優位性があり、多様な活用が生まれることが期待される。加えて、西口でのバスターミナルやペDESTリアンデッキ等の再整備の工夫により、豊田市の独自性を生かした新たな都市空間の創出を要望する。
2	継続	崇化館	名鉄豊田市駅舎の改修整備	豊田市駅舎は1986年に開設され、朝夕時の混雑は大変厳しく、特に各種イベント、祭りやスポーツ開催時は階段等に乗降客が溢れ、大変危険な現在であるため、北改札口の新設等人的流れの安全円滑化の促進、また、2026年アジア大会、2027年リニア中央新幹線の開業を見据え、駅利用者の利便性向上及び42万都市玄関口としての顔に相応しい駅舎改修整備を要望する。
3	継続	崇化館	中心市街地活気ある事業所対策	新型コロナウイルスは5類に引き下げられ、来街者や来客も戻りつつはあるが、事業者は厳しい時代を乗り越えて健全な経営努力をしている。今後、アフターコロナにおいても、数年に渡る非常事態協力による個店の体力低下・後遺症は深刻でありさらなる今後の支援策を請う。また、経営断念や高齢化・後継者不足と重なり、空き店舗増加の懸念が有り景観・衛生・治安低下などの誘発を是正する意味でもさらなる商業活性化プランなどの活用を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
4	継続	崇化館	駅前総合観光拠点施設の新設	これからの観光交流事業は多くの産業に波及効果や雇用効果等を創出する産業である。本市の観光資源は誇るべく極めて豊富であり、観光振興を通じ地域経済の活性化に寄与する。観光地・土産・イベント宿泊所斡旋・飲食店情報等を考慮すると、現ウエルカムセンターN6では分かりづらく手狭であり、今後期待されるイベント内容を始め情報発信の限界等が考えられ、観光都市として新たに豊田市駅前から市民・来街者等に発信・貢献できるシステムの総合観光案内所の設置を要望する。
5	継続	崇化館	災害時での被害者及び帰宅困難者緊急避難対応	近年、気象異常や温暖化などによる大雨災害の懸念が高くなり、中心市街地は全て冠水の恐れがある。一時避難場所を考慮し、被害者及び帰宅困難者等の避難行動について、行政・立体駐車場・商業施設・コミュニティ始め自治区や商店街等地域住民の理解・協力のもと、災害に強く対応出来る組織連携の構築及び整備や備蓄などの対応を要望する。
6	継続	梅坪台	上豊田駅周辺の総合的な整備の推進	上豊田駅は、鉄道、おいでんバス(藤岡・豊田線、さなげ・足助線)、パークアンドライド利用の自動車等の交通結節点であり、周辺では都市計画道路浄水北通り線・西山上挙母線・豊田北バイパスの整備が進められている中、利便性向上のための具体的な駅前広場整備の計画が必要である。また、第8次総合計画において居住誘導拠点に位置づけられ、地元では面的なまちづくり整備の推進に向けた努力が進められている。こうした状況を踏まえた総合的な整備の推進を要望する。
7	継続	梅坪台	枝下用水幹線水路耐震工事に伴う周辺整備	枝下用水幹線水路沿線は、枝下緑地の都市計画決定を受け、緑地整備が行われているが、用水や緑地の未整備区間による地域の往来が困難な区間があり、生活環境や地域コミュニティの形成に影響が生じている。耐震工事に合わせた小・中学校の通学路、災害時における避難所への経路の確保、のり面緑化等の周辺整備を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
8	継続	梅坪台	籠川、伊保川の洪水による災害発生防止のための維持管理と環境整備	籠川流域（矢作川合流点から伊保川合流点）及び伊保川における樹木伐採、土砂堆積等の流下阻害に対応した維持管理の継続と、地域で機運が高まっている環境保全活動への支援を要望する。また、籠川緑地の豊田北バイパス南近接地の早期整備を要望する。
9	継続	浄水	安全・安心なまちづくりに向けた地域防犯力の強化	浄水地区は、区画整理事業の進展により人口が急増しており、浄水中学校区の人口は1万5千人を超え、現在も増え続けている。こうした状況の中、安心・安全なまちづくりに向けた地域防犯力の強化が求められており、地域の治安維持のため交番の設置を要望する。
10	新規	浄水	市道浄水駅中央通り線の道路照明灯新設	市道浄水駅中央通り線の高原高架橋西交差点から特別支援学校入口交差点までの約700mの区間は、梅坪台中学校の通学路となっているが、道路照明が少なく冬場の夕方から夜間にかけては真っ暗な状況となっているため、道路照明灯の新設を要望する。
11	継続	朝日丘	毘森公園整備	毘森公園は市街地中心部に位置する貴重な総合公園であるが開設70年近く経過し公園設備の老朽化が進む中、抜本的な公園の再整備が望まれている。①毘森公園の再整備の在り方を検討するための予算確保。②現状対策として早急に歩道・車道の修繕、枝下用水周辺の安全対策及び公園未供用区域の樹木竹林の整備を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
12	継続	朝日丘	県道豊田東郷線「小坂本町1丁目西」交差点から「宮上町8丁目」交差点間整備	豊田南バイパスの供用開始後、さらなる交通量の増加が予測されると思われる。県道豊田東郷線（都市計画東郷豊田）は幅員約10mと狭く現在大型車両のすれ違いが難しく対面車同士の事故も発生するなど、車道・歩道ともに通行において非常に危険な状態であり、早期の道路拡幅工事を要望する。
13	継続	朝日丘	市道小坂三軒2号線改良の早期事業化	市道小坂三軒2号線は衣丘小学校北西角から市道三軒家八ツ迫線までの区間が挙母揚水跡地である。当地域は朝夕近隣道路から多数の通り抜け車両があり危険性が高い。小・中学生の通学路の安全性確保のため早期の事業化が望まれる。幅員確保ができず市道開設が困難となった場合は自転車歩行者専用道として整備をすることを要望する。
14	新規	朝日丘	市道櫛通り線整備	小坂本町区間における市道櫛通り線は従来より豊田市駅西口道路の中心的な役割を果たしているが、今後駅西口へのバスターミナルの集中、新博物館建設による歩行者導線利用などさらなる利用拡大が見込まれている。歩道のバリアフリー化、無電柱化などを含めた全体の整備を要望する。
15	継続	朝日丘	小川町4丁目北側と豊田段ボール倉庫東側間の狭小道路改修	この区間の道路は普通乗用車1台分の余地しかなく、対向車はもちろん自転車とのすれ違いもできず、接触事故も起きているので、早急の整備が必要と考える。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
16	継続	朝日丘	市道青木新生線の歩道設置を含む道路拡張	市道青木新生線（枝下用水～小坂若林線）の約270m区間は車両の交通量も多く自転車・歩行者との接触事故が懸念されるため、安全な通行空間の確保と歩道の設置を要望する。
17	継続	逢妻	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	みよし市三好ヶ丘より豊田市内への進入道路である市道福谷一色線は、交通量が多く幅員も狭く、小中高校生の通学路として、大変危険である。南バイパス工事が進む中で、バイパスと交差する「市道豊田西部線」久岡町～三好ヶ丘間の早期事業化を求める。
18	継続	逢妻	南バイパス開通による通学路整備	現在、南バイパス工事が進められているが、開通により、地区内の小・中学生約3,000名の通学路が変更になったり、通過車両の交通量の増減が予想される。現在、自治区役員・学校関係者・市担当課と、予想される危険箇所抽出を行っている。バイパス開通による通学路の安全対策を求める。
19	継続	逢妻	本地柿本線の拡張	柿本町2丁目交差点付近は道路幅員が極端に狭く、西側（柿本ゆずりあい橋～市道四ツ家神田線交差点付近）においても同様に狭く、大規模自動車工場への通勤車両や通学生徒の通学路でもあり大変危険である。よって、早期の改修を求める。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
20	新規	逢妻	柿本2丁目～東新町5丁目交差点間の通学路整備	当該区間は、逢妻中学校の生徒のうち、約半数の400名の生徒の通学路であり、また、大規模自動車工場や大型スーパーがあるため、終日通過車両が多い区間であるが、歩道が十分に設置できていないため大変危険である。よって、早期の歩道設置を求める。
21	継続	逢妻	東新町3丁目の排水路整備	大雨のために、雨水が歩道に溢れ、通学の児童は池のようになった道路を登校し、付近の個人宅にも雨水が進入し、住民自ら土嚢を組み対応しているのが常態化している。早期の対策が必要である。
22	新規	豊南	河合池運動広場トイレ改修	河合池運動広場内のトイレは、当初の予想人員の3倍の人が使用している。浄化槽から汲み上げて、下水に流すモーターの容量を超えるため、便器からあふれる。この運動広場は、マレットゴルフの全国大会にしばしば使用され、地域等の大会も盛んに使用されている。修繕対応またはトイレの新設を要望する。
23	新規	豊南	河合池ふれあい広場トイレ設置	河合池ふれあい広場にトイレがないため、子ども（少年野球）、高齢者（マレットゴルフ利用者）も対岸のトイレを使用している。是非トイレ設置を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
24	新規	豊南	河合町1丁目交差点をスクランブル交差点に	河合町1丁目の交差点は、1日中車と歩行者の交通量が多く、特に子どもたちの登下校の安全見守りの重点場所となっている。子どもたちが集団で渡るため、右折左折の車のスムーズな通行が妨げられ渋滞を引き起こしている。この渋滞と歩行者の安全性の解消のためスクランブル交差点になるよう要望する。
25	新規	豊南	豊栄河合線に押しボタン式横断歩道の新設	現在、大勢の高齢者、朝夕の散歩の方々が豊栄河合線を横断している。河合池マレットゴルフ場に向かう高齢者の横断が多いが、将来交通量が増えてくることが想定される。非常に危険と危惧されることから、押しボタン式横断歩道の設置を要望する。
26	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成したことにより地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、また安永川改修事業を広く市民に知っていただけるよう、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。

【高橋地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
27	継続	高橋	県道則定線と市道高橋1号線への接道へ信号機交差点設置の確定	<p>高橋の架け替え及び寺部区画整理事業を終え、県道豊田則定線は令和3年度より4車線化事業が行われており、令和5年度からは内環状線までの4車線化の事業化が予定されている。事業と並行して中央分離帯が設置されることで高橋自治区の住民が分断されてしまうため、市道高橋1号線と県道豊田則定線との接道へ信号機交差点の設置を強く要望する。区画整理事業を進めて行く上で平成14年から始まった住民説明会からも強く要望され、その上で区画整理事業に同意し、現在の市道高橋1号線はそのために拡張をした経緯もある。現在は暫定的な交差点となっているが、交差点設置の確定を要望。</p> <p>自民クラブ地域要望としては引き続きの継続要望であり、令和2年7月27日に八木哲也代議士・鈴木雅博県議会議員・岩田淳市議とで愛知県警察本部・交通部長石川智之警視長へ請願書として提出済のため、その後の対応及び回答を要望。今年度も愛知県警察本部へ国・県・市議で陳情へ出向く予定。（市街地整備課・交通安全防犯課所管）</p>
28	継続	高橋	平井小学校体育館を緊急避難場所及び避難所指定可能とする整備と関連する市道岩滝～百々線の延伸整備及び消防団詰所土地の確保	<p>平井小学校体育館は体育館北側が土砂災害警戒区域指定がされているため、緊急避難場所及び避難所指定がされておらず、災害時には体育館の使用ができない状況である。本来なら愛知県が整備を進めなければならないが愛知県の整備条件から外れているため、豊田市として整備を進め土砂災害区域指定を外し避難所指定にすることを要望する。令和元年10月7日に鈴木雅博県議会議員とともに同行、愛知県からの回答を説明済。同日、高橋区長会（15自治区）として要望書を提出（建設部・教育部・防災対策課が同席）</p> <p>また、土砂災害区域となっている急傾斜地は現在道路延伸が計画されている市道岩滝～百々線の道路法面であるが、市道延伸事業の時期及び状況と延伸事業と合わせて余剰地を利用して平井町・百々町地区の消防団詰所土地の確保を要望。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
29	継続	高橋	県道豊田則定線・高橋1号線交差部から高橋2丁目交差点～内・外環状線までの4車線化	現在の寺部区画整理事業に伴い、高橋から県道豊田則定線の4車線化が進んでいる。要望課題とされている4車線化は高橋1号線までとなっており、その先の高橋2丁目交差点までの約210m及び内環状線～外環状線までの4車線化の計画に伴い、まちづくりの観点から寺部区画整理事業は一区切りを終えたが、引き続き4車線道路計画の目途をつけていただくよう要望する。
30	継続	高橋	県道487号線・中金～古瀬間線の拡充（県道松平志賀中金線拡幅）	矢並線～山中町間の県道487号線の一部道路舗装整備は、平成28年度より進んでいるが未実施の道路整備補修を要望。矢並線～山中町間の通学路確保と車両交通事故防止のため、道路拡幅・拡充を計画的な方向性を作成していただくことを要望する。
31	継続	高橋	高橋地区内の土砂災害警戒区域内に居住する方々に対する防災集団移転促進事業等の安全対策の実施及び地縁団体の跡地利用	土砂災害区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律及び都市計画法・防災のための集団移転促進事業に係る国の財政上の特別措置等に関する法律が令和3年5月に改正され、昨年度は地元協議会への意見交換会を行っていただいた。 事前に自然災害を防止する防災集団移転促進事業（高橋地区内でモデル事業化（5戸以上））及び新たな手法等を用いた安全対策について、意見交換会を要望。 （一定の地主の理解も既に得ている） 既に高橋地区内の対象関連自治区（百々町・手呂・池田・岩滝自治区）では協議会が発足され、令和2年度より企画政策部へ要望している。また、自治区内にある地縁団体の土地について、市による有効利用を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
32	継続	美里	第2期中央公園整備	都市計画決定が令和2年度に決定し農振除外も行われた。令和3年度には民間活力のサウンディング等整備に向けて進められている。今後は第2期中央公園全体の早期用地買収を要望するとともに、グラウンド整備内容の明確化を要望する。
33	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	令和3年度要望に対し、用地取得が進められ、危険性・緊急性の高い個所について早期整備の働きをしていく答弁があり、今後、鵜の首開削事業もスタートするため、さらに工事車両等が増加する事が懸念される。早期に道路拡幅と歩道新設を含めた拡幅・改修の整備を要望する。
34	継続	美里	市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備	高橋細谷線の4車線化整備に伴い交通量が増加傾向にある中で、豊田東高校に来る生徒が多く通学に使用している、市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備の早期完成を要望する。
35	継続	美里	東部1号線から高上東山線のバリアフリー化整備	東部1号線から高上東山線の歩道は、浸水性の高い舗装の箇所があり表面の劣化が進んでいる。道路面との段差もあり、カーブが続くエリアでは、歩行者が転倒しやすく、危険である。通学路にもなっているため早期に道路面との段差を解消し、安全に歩行できるバリアフリー化整備を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
36	新規	美里	鵜の首狭窄部整備及び鵜の首橋の付替え	東海豪雨級の洪水を安全に流せるように国が矢作川整備計画を策定し整備を進めている。矢作川が狭く蛇行しているために、中流域の豊田市中心部を脅かしている「鵜の首狭窄部」の早期完成を要望する。また、鵜の首橋を相互交通できるように整備することを要望する。
37	継続	益富	国道301号線整備（益富拡幅）	2021年に事業着手し総事業費30億円の事業概要が発表され、今後主要道路である国道301号4車線化の早期完成を要望する。また、令和5年度から用地測量に入る段取りとなったが、地域説明会時に地域から提出された要望事項について推進していただくことを要望する。
38	継続	益富	志賀郷中線の交差点改良	志賀中郷線と上野大見線のT字路の交差点では、鋭角に接続しているため、事故が多発している。また、近くに古瀬間小学校があり、通学路になっている地域の生活道路だが、朝夕の交通量も増加している。交差点改良を含めて整備を要望する。
39	継続	益富	古瀬間墓地公園線のT字路の交差点改良	古瀬間町に益富包括支援センターが完成した後、交通量が増加し歩行者を含めた安全対策が必要になっている。今後も交通量が一段と増加傾向にあるため、鋭角交差点の改良工事を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
40	新規	益富	浜居場住宅の建て替え整備	平成21年より入居者を止めている中で、建て替えの明確な方針が決まっていない。土地利用を含めた、浜居場住宅の再整備を要望する。
41	継続	益富	五ヶ丘地区の遊歩道整備	五ヶ丘で生活道路を走る車との接触が極力無いように遊歩道整備がされているが、五ヶ丘団地が完成してから35年が経過し、遊歩道に亀裂やひび割れ、根上り等が多くみられるようになった。遊歩道を歩く市民も高齢化が進んでいる地域であり、安全に散歩が出来るように遊歩道整備を要望する。（五ヶ丘公園内も含む）

【上郷地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
42	継続	末野原	豊田市挙母南部地区に体育館の建設（末野原地区他）	豊田市挙母南部地区（豊南・末野原・竜神）には多くの市民が在住し、その住民の「するスポーツ」を支えるためにも、当地区に地域型スポーツ施設の整備として地域体育館の建設を要望する。
43	継続	末野原	三河豊田駅前広場の改修	今年度、三河豊田駅前広場の噴水が撤去されるが、時代の経過とともに、駅前広場としての機能が低下している。そこで、地元住民による「三河豊田駅前広場再生協議会」が設立されているが、地域住民が憩え、時代に合った交通結節点機能を備えた駅前広場に全面改修することを要望する。
44	継続	末野原	県道本地鷲鴨線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鷲鴨線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あり、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上・防火上そして環境的にも問題がある。特定空家等に該当するか調査をお願いするとともに、土地の管理者である愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望していただきたい。
45	継続	末野原	優良建築物等整備事業のさらなる支援	三河豊田駅前広場の隣接地で展開している優良建築物等整備事業のさらなる推進のため、法定再開発事業並みの支援策をお願いしたい。例えば地権者の市税等の優遇措置や助成制度の新設をお願いしたい。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
46	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備（鴛鴨町他）	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴨・永覚の各自治区内は整備されていない。したがって、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の計画工事の推進及び、地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望する。
47	継続	末野原	永覚町の愛環永覚駅周辺一帯の土地利用整備推進（周辺開発・道路・通学路の一帯整備）	永覚駅の駅ロータリー設置・駐車場整備（駐車場追加）・駅周辺道路整備（駅南側道路は狭くて暗くて危険）・宅地開発などによる利便性向上・永覚東部地区の児童の通学路、生活道路において安全対策等、明治用水暗渠化及び上部利用、開発や道路新設も考慮した周辺一帯の土地利用整備を要望する。
48	継続	末野原	渡刈町内の宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止の護岸拡幅等工事の実施を要望する。
49	継続	末野原	家下川の川幅拡張等による、集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には、排水できず上流の住宅地・田畑等の浸水が予想されるため、拡張工事等の早急な浸水防止対策を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
50	継続	末野原	県道本地鴛鴨線（（都）大林榎塚線）未整備区間の事業化による歩道整備	県道本地鴛鴨線（（都）大林榎塚線）は、鴛鴨町上大岨付近において未整備区間がある。また、西側に水路が並走するこの未整備区間は、歩道の連続性が確保されておらず、安全確保が不十分な状況となっている。歩道の連続性の確保とともに、未整備区間の早期事業化について要望する。
51	継続	上郷	市道中和会榎塚線における通過車両速度低減施策の実現	当該箇所は和会町山根にある住宅密集地。自治区の生活道路かつ小・中学生の通学道路であり、道路幅は狭く歩道もないが、東西方向の抜け道となっているため通過車両が多い。地域住民の安全確保や騒音低減の観点から、交通量抑制や通過速度低減のための施策を要望する。 （平成30年度に道路にハンプ設置の社会実験を実施。その後、実行中止となった経緯があるが、地域住民からは根強い要望がある）
52	継続	上郷	愛環三河上郷駅構内のエレベーター新設	バリアフリー法上では駅利用者3,000人／日以上でエレベーターの設置義務が発生するが、従来より三河上郷駅はこの基準に合致しないため設置は見送られている。しかしながら、地域住民の高齢化への対応、子育て世代のベビーカー等の利便性向上の必要性など、駅構内ホームへのエレベーター新設には根強い期待があり、検討継続を強く要望する。
53	新規	上郷	福受町地内 交通量抑制のための通行規制実現	県道豊田安城線が福受町地内で渋滞するため、朝晩の通勤時間帯を中心に福受町を南北に走る生活道路を抜け道として通過する車両が多い。すれ違いが困難な道幅な上、小・中学生の通学路でもあり、地域住民の安全確保や騒音低減の観点から、何らかの通行規制対策を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
54	継続	上郷	柘塚西町自治区 公園の新設及び駐車スペース整備	1,200世帯/3,200人が暮らす自治区に対し、公園が一箇所しかない(ふれあい広場)。子どもの遊び場や地域の人たちの憩いの場としてだけでなく、大災害時や緊急時の避難場所としての機能も果たす重要な施設である公園の建設を要望する。 また、備品や物資運搬に必要な車両駐車場の整備も併せて要望する。
55	継続	上郷	広美町の三連水車公園の整備	現在、広美町地内の明治用水では耐震化工事が進められており、工事の進捗に合わせて既存の三連水車公園周辺の再整備を要望。特に、子ども向け遊具の充実をお願いしたい。 また、公園のシンボルである三連水車は数年前から故障で稼働しておらず、公園整備計画の遂行と併せ修繕いただくことを要望する。
56	継続	上郷	柳川瀬公園の拡充整備	①全体施設を見直し多様なニーズに対応 ②老朽化した体育館の改修 ③豊寿園の移転受け入れ、高齢者の健康づくり
57	新規	上郷	市道畝部小学校東線の整備	県道岡崎豊明線から畝部小学校まで大型消防車、バス等の大型車が安全に通行できるよう拡幅し二車線化

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
58	継続	上郷	愛環北野柵塚駅周辺整備	<ul style="list-style-type: none"> ① 駅ロータリーの設置 ② 駐車場整備 ③ 駅周辺の道路整備 ④ 宅地開発（一期工事は実施済み。2期工事に向けて）
59	継続	上郷	市道広美柵塚線の整備／柵塚東町	<ul style="list-style-type: none"> ① 拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良 ② 市道広美柵塚線と市道東柵塚郷東線を結ぶ ③ 市道東柵塚東線を延伸し、柳川瀬公園まで結ぶ

【高岡地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
60	継続	竜神	名鉄三河線竹村駅の利便性の向上と踏切の渋滞対策	現在竹村駅は、駅前のスペースも少なく、特に雨天時には、送迎の車の出入りで、その混雑は大変危険な状態となっている。名鉄三河線の複線化にあわせ、乗降客の利便性の向上と安全対策、そして踏切の渋滞対策を要望する。
61	継続	竜神	竹村小学校区の公共交通機関の空白地域の解消	竹村小学校区は、名鉄三河線竹村駅はあるものの、公共交通機関の空白地がある。高齢化により運転免許証を返納する高齢者が増加する中で、病院や商業施設に通う自家用車に代わる日常的な足を確保する必要がある。地域バスや、デマンド交通など多様な制度を活用した、公共交通システムの導入を要望する。
62	新規	竜神	西田町本通35番地付近交差点LED信号機への更新	昨年秋、当該交差点で事故が2件（車×車、人×車）発生した。当該交差点の旧式信号機では、時間帯により太陽光の反射により、信号が見にくく、事故の原因にもなっている。竹村小学校へ通学する子どもたちの通学路でもあり、より見やすく光度の高いLED式の信号機への更新を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
63	継続	高岡	都市計画道路の事業化 / 若林西町・若林東町	<p>若林地区内にある都市計画道路の全線早期事業化を要望する。</p> <p>現在、若林駅周辺では土地区画整理事業の計画が進められているが、土地区画整理事業予定地区内の都市計画道路はその事業の一部として、また、線路より東側のみが事業化が予定されているだけで全線を事業化する予定がない。</p> <p>特に、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業が予定どおり進み、踏切幅の拡張整備が進んだ結果、想定されていたとおり周辺渋滞を避けるために多くの通過車両が進んでおり、周辺には小中学校の通学路もあり交通安全上非常に危険である。</p> <p>また、将来に向けて若林駅を中心とした拠点地区周辺での都市計画道路の全線整備は、南部地区の安全安心なまちづくりに大きな効果をもたらすと考える。</p>
64	継続	高岡	若林東町上り戸（六ツ辻）交差点の改良 / 若林東町	<p>当初、この上り戸交差点は、「若林駅周辺土地区画整理事業」において事業計画地区内であったが、諸事情により事業計画地区外となり、別事業として進められる事となった。</p> <p>しかし、未だその計画については示されてはおらず、土地区画整理事業・三河線複線高架事業やその他周辺道路整備が進み交差点周辺の渋滞が緩和され交通の流れが良くなっても、元々この交差点は変則であるためさらに危険な交差点となることが予想されるので、周辺で進められている事業（区画整理・鉄道高架など）に合わせて、あるいはそれよりも早く交差点改良を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
65	継続	高岡	若林神社前交差点改良及び若林花園線(土地区画整理地区外)の拡張／若林西町	<p>若林神社前交差点は、北方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先の変形交差点(上り戸交差点)が渋滞するため、先日、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業により整備された踏切を横断するために右折をするため渋滞や接触事故が発生している。現在、若園地区方面からの往来で若林花園線を使う車が増え交通量が増加しており、通行者や自転車などとの接触や若林花園線の横断のしづらい状況も発生している。また、名鉄三河線高架事業の着実な整備は土地区画整理事業とは関係なく、さらに若林花園線を利用する人たちの増加を誘導するので早期に整備を要望する。</p>
66	継続	高岡	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線渋滞・安全対策／若林東町	<p>この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響している。また、県道豊田一色線沿いの県営外根住宅とメグリア若園店の間について横断禁止の周知活動を行っているが、横断する人が過去を含め何名も亡くなっている。県と市の対応を要望する。</p>
67	継続	高岡	若林高架側道3号線と既存道路との接合／若林東町	<p>現在、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業に併せ、若林高架側道3号線が設計されているが、市道役場棚田線との接合並びに上田橋の両方の道路幅を考慮すると車・人のどちらも利用がしづらいと考えられるので、計画の修正を要望する。また同時に、高美町自治区から伸びる市道団地巡回1号線と若林高架側道3号線の接続を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
68	継続	前林	名古屋岡崎線堤本町本地交差点改良の事業化	県道56号線（平針街道）と県道284号線（知立宮上線）が交差する堤本町本地交差点は、近くに大規模工場がありその周辺には多くの流通業務施設が立地され、通勤時間帯には激しい渋滞が発生し終日を通して交通量が多い。県においても渋滞箇所として認識されており、過去にも多くの事故が発生し、本市も対策が必要な箇所として選定している。地域における長年の課題であり、右折レーン新設による早期の交差点改良が求められている。昨年度地元説明も行われており、調査・設計を進め、交差点改良の早期整備を要望する。
69	継続	前林	民間施設跡地を活用した商業施設の立地への協力	前林地域は、平坦な農地を利用した農業と大規模工場を有する工業を併せ持つ地域で、大半を市街化調整区域が占めている。そのため、一定規模の暮らしに関連する生鮮食品店舗が進出できない状態にあり、一方で、流通業務施設等については、関連法に沿って数多く進出している状態にある。この地域に暮らしている多くの市民の居住環境の維持保全を図っていくためにも、地権者、事業者、地元が同意している民間施設閉鎖跡地を活用した商業施設立地に向けた本市の協力を要望する。
70	継続	前林	高岡公園拡張整備事業における魅力ある公園整備	高岡公園の北東に位置する、既存の前林ふれあい広場と用地取得済み未整備用地を合わせた面積約1.5haの公園区域を、地域の小・中学生がスポーツを楽しみ、また地域住民が集い多目的使用できる広場として、地域意見を取り入れた整備の事業化を要望する。あわせて、公園周辺地域から出されている排水対策の要望に対し、令和5年度事業内容に引き続き、早期に整備完了に向けた事業の実施を要望する。
71	新規	前林	西の池耐震性の補強と水環境の整備に向けた検討	西の池は、地震等で決壊した場合の浸水区域に家屋等が存在し、人的被害を与える恐れがある防災重点ため池と位置付けられており、地域からも平成26年より堤体の補強等の要望が出されている。また、堤体部以外でも隣接する土地が浸食されている状態で、下流域には多くの家屋がある。畑灌のための水源、雨水調整のための機能を考慮しつつ、堤体の補強と同時に浸食地の回復を図るための整備の方向性を示し、早期事業化していただくことを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
72	継続	前林	都市計画道路西岡吉原線・豊田刈谷線の早期整備と周辺の市道整備と安全対策	都市計画道路豊田刈谷線、西岡吉原線の早期着工へ向けた事業推進と愛知県担当区間における諸課題を早期に解決し、事業進捗を図っていくことを要望する。あわせて、周辺の市道整備と生活道路に対する安全対策を要望する。
73	継続	若園	(都)西岡吉原線道路の整備事業	現在、名鉄高架事業に関連して中根町小沢までの道路整備が進められている。その先にある中根町地内の名鉄三河線踏切～吉原町地内(4-2工区)までの都市計画道路である西岡吉原線の道路整備に向けて、早期事業化を要望する。
74	継続	若園	中根町永山地内の歩道橋設置	都市計画道路西岡吉原線の施工に関して、小沢交差点の歩道橋が撤去される。当道路を横断する児童も多く、将来的な通学路の安全を考慮すると歩道橋が必要との住民希望もあり、最適な位置に歩道橋を設置していただくよう要望する。
75	継続	若園	北中根花園線の通学路整備	北中根花園線の若園中学校に沿った歩道にラバーポールが設置されているが、通行する中学生や交流館を利用するための地域住民も多く、防護柵等及び通学路についてはグリーンベルト等の安全対策を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
76	新規	若園	西岡可鍛跡地北側道路交差点の改良	西岡可鍛跡地の住宅開発が進められている。吉原通学1号線と若林中根線の交差点（陸橋がある地点）の交通量の増加及び通学路としての道路が狭いため、交差点の改良を要望する
77	新規	若園	花園役場線の道路整備	花園役場線の道路及び歩道整備について、事業用地の協力が得られていない状況であるため、工事は終了しているが、代替案を含め整備できる状況を模索していきたい。その上で懸案となっている道路整備を進めていけるよう要望する。

【猿投地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
78	継続	猿投台	越戸こども園環境整備	保育におけるこども園の環境整備は、保護者の皆さんに対して安全・安心な保育を提供する上で欠かすことができない。まず、越戸こども園の駐車場整備拡充が必要である。過去から駐車場の拡充はしてきているが、十分な数に達していない。用地買収を含めて、一日も早い対応を要望する。
79	継続	猿投台	勘八公園・前田公園整備推進	勘八公園は昭和57年に都市公園と位置付けられてから事業がストップしていたが、令和5年度より事業化された。今後、一日も早い整備のため、用地買収を含めた充実した予算措置を要望する。また、前田公園周辺は宅地開発も進み、人口も増加しており、市民広場条例の位置づけから都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めてほしい。現在、問題である借地を市有地とするための諸課題を解決すべきである。これによって民芸館、民芸の森との連携強化による集客が期待できる。
80	継続	猿投台	矢作緑地平戸橋周辺整備事業	平戸橋から荒井周辺までの矢作川周辺右岸について一体性を持たせた緑地公園として整備する。猿投台地域会議では、まちづくりビジョンを策定し、地域が主体となって河川敷の整備活動を展開している。行政任せではなく、まさに共働の精神に基づいた市民活動を展開している。河川管理者は愛知県であり、事業をする上での占有許可など煩雑な事務処理も多いので市として公園の位置づけ（公園区域の拡大）をすれば、住民の皆さんの活動が容易になる。特に、平戸大橋下の空間は、現在、地域の皆さんが草刈り等を行っており、せめて広場として環境整備すべきである。
81	継続	猿投台	平戸橋公園・前田公園さくら整備事業	両公園は桜の名所として市民に定着している。特に平戸橋公園は、毎年桜まつりを開催し、多くの市民が訪れている。公園の売りである桜は劣化している。何十年後には桜が存在しないことが危惧され、今のうちから整備（植樹等）すべきであり、早急な整備計画を策定すべきである。桜の問題は当地域だけでなく、豊田市全体の課題である。一日も早い豊田市の桜整備も考えるべきである。管理については民芸館であるが、平戸橋公園規模であれば、市の公園担当部局、または猿投支所が行うべきである。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
82	継続	猿投台	名鉄越戸駅のバリアフリー対策推進	令和4年度に駅前広場、越戸停車場線が整備された。本来、鉄道事業者が行うべきバリアフリー対策であるが事業化進展のかけらもない。高齢社会の進行に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を市として整備すべきと要望する。過去に3,000名以上の皆さんが設置要望を市長に提出している。
83	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通	現在上原町から四郷与茂田交差点までが工事中であるが、渋滞が多く発生している。加えて与茂田交差点以北も日常的に渋滞しており、国道419号線4車線化の早期実現を要望する。
84	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化	豊田市運動公園までのアクセスとして、猿投学校通り線として計画されている市道を使用している車が多く、イベント等が開催された時など、すれ違いに道を譲る場合があり、早期実現を要望する。
85	継続	井郷	布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の親水公園整備	水と緑のまちづくりのために布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
86	継続	井郷	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備	猿投駅は北の玄関鉄道駅として位置付けられているが、現在はアクセス道路が全くなく整備されていない。その改善策と運動公園利用者を増やすためにも、名鉄の運動公園までの延伸とパークアンドライド用駐車場の整備（駐車場用地の早期取得）を要望する。
87	継続	井郷	旧名鉄路線敷を活用した山村振興、観光資源の確保	豊田市に移管された線路敷地の利活用により山村振興、観光資源の再建に資する取り組むべきことを要望する。
88	新規	猿投	(仮)加納2号橋新設事業（市道加納1号線）	市道加納1号線は、供用開始後15年以上が経過するも、加納川に架橋されている橋は、新設されず現在に至っている。その理由は県河川の拡幅計画に合わせ事業化することであるが、いまだ河川の事業化のめどもなく、現橋梁幅員が2mと狭く危険であるため早期の事業化が必要である。
89	継続	猿投	地域の文化財を生かしたまちづくり事業の推進	猿投神社周辺には、平成29年に旧龍性院庭園が国の文化財指定を受け、平成29年～30年で保存活用計画がまとめられた。また令和元年に山中観音堂の文化財指定、令和3年1月に山中観音堂千手観音が県文化財にされた。今後、これらの地域文化財を生かしたまちづくり事業が求められ、棒の手会館のリニューアル事業とともに次期総合計画において整備されることを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
90	継続	猿投	国道419号の4車線化事業	本路線は、豊田市中心部と瑞浪市を結ぶ幹線道路であり、近年朝夕には与茂田交差点～亀首児童交差点が渋滞している。現在、四郷区画整理事業に合わせ順次整備するとのことを聞いており、引き続き愛知県に対し早期事業化を求める要望書の提出をお願いする。
91	継続	猿投	(仮)水辺ふれあいプラザ整備事業	本事業は、子どもたちの水辺の遊び場と環境学習の場として亀首町地内の籠川に計画された。平成20年に用地取得を終えるも、リーマンショックの影響もあり整備が凍結され、この間、地元により草刈りなど管理されてきた。令和4年度から河川工事に着手しており、今後の早期整備完了を要望する。
92	継続	保見	市道事業化・早期着工・前倒し 早期整備 伊保貝津線の延伸 伊保町～保見町	現在、県道58号足助線が、朝夕の渋滞により地域住民の生活に影響が出ている状況である。伊保町にあるトヨタ紡織はじめ企業従業員の通勤や工場に出入するトラック等による渋滞が発生し、交通事故も増えている。市道整備により県道足助線の渋滞緩和と歩車分離が進み、地域住民の安全確保ができる。市道、伊保貝津線の伊保町から保見町までの延伸整備を要望する。現在、県道加納東保見線への接続に向けたルート（貝津町～東保見町）で、整備を検討いただいている状況であるが、早期の事業着工を要望する。
93	継続	保見	児童公園の増設 保見町南山	現在、保見町には児童遊園が1つ、地域広場が2つ設置されているが、保見町南山地域には児童遊園も地域広場もない。子どもたちの遊び場を作ることは安全確保になり、また災害時の住民避難場所となる。大規模災害時の避難場所を兼ねた児童遊園（ちびっこ広場）の新設を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
94	継続	保見	保見マレット場の増設 9ホールの増設	新型コロナウイルスが2類から5類に変更され市民の皆さんの活動も活発になり、現在のマレット場では利用したい市民の全要望をかなえることができない状況である。保見マレット場でプレーしている市民は保見地区だけでなく市内全域から訪れている。また毎日の来訪者の人数と場内の駐車スペースがアンバランスとなっており、駐車場所がなく危険な状況である。保見マレット場の隣地取得を行い9ホールの増設を要望する。取得ができない場合は借地として借り受けてほしい。山の中を通学する子どもたちを見守るために、マレット場南側隣地の竹林の伐採を要望する。(地主から伐採許可を得てほしい)
95	継続	保見	都市計画道路区間の早期事業化・早期着工 県道豊田知立線 田糶～三好ヶ丘 名古屋豊田線 田糶～亀首	地域内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。理由①国道155線及び県道足助線の交通量の増大から慢性的渋滞があり、また子どもたちを交通事故から守るため。理由②広域交流・都市間交流を支える道路である155線が片側1車線であり、日常的に渋滞が発生している。隣接する長久手市、日進市から通勤者の車が流入している。また企業誘致の面からも交通事情が改善されなければ誘致が難しい状況である。市が進める経済都市の成長と安心安全なまちづくりのためには早期事業化が重要である。また県道58号は尾張三河と信州方面を結ぶ伊奈街道(明治以降は飯田街道)と呼ばれ、物流の重要な道であった。豊田市は東西に走る道が少なく、慢性的に渋滞が発生する状況のため、周辺の街が発展できずに、廃れてしまった。
96	新規	保見	規制緩和 駅周辺の開発許可 愛知環状鉄道 保見駅、貝津駅、篠原駅の周辺の開発	保見地区には愛知環状鉄道の駅が4駅あり、利便性の高い駅周辺の開発を許可いただきたい。人口減少は中山間地だけの問題ではなく、保見地域においても喫緊の問題となっている。保見地区には商業施設がなく常日頃の買い物をするのにも遠くまで車を使用して行く状況である。また、このままの状況では小学校が無くなってしまふことも考えられる。早急に住宅開発をして、人口減少を止めなくてはいけないと考えている。また豊田市が制定している緑の外環の解除も必要と考えるので同時にお願いする。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
97	継続	石野	石野中学校の避難所機能の確立のための整備	石野中学校は、緊急時に市民の避難所として指定されているが、国道153号線からの正門進入路に限られているため、災害により進入路が絶たれた場合にも避難所の安全確保と地域住民の命を守る整備を強く要望する。
98	新規	石野	中金小学校通学路国道153号線歩行者用信号の設置	中金町日影の国道153号線の信号交差点は歩行者用信号機がない。視線の低い小学校低学年の児童は車両信号機を見落とす可能性があり、国道を横断するのが大変危険である。黄色信号で児童が気付かず横断歩道を渡った場合、車両が急いで交差点を抜けようとする車にひかれてしまう可能性がある。中金町、城見町、野口町、中切町の児童が登下校で渡る交差点であるため児童の安全確保と命を守る整備を要望する。
99	新規	石野	市道755カ石広瀬1号線センターラインの引き直し	カ石広瀬1号線センターラインが経年のため、なくなってしまう。現在、カ石町は住宅も増えてきたこともあり、カ石から東広瀬小学校までの通学路にこのカ石広瀬線を使用する検討が地元で行われている。センターラインが消えてしまったため、車両はみだし等の危険回避のためにもセンターラインの引き直しを要望する。
100	新規	石野	緊急避難所の石野中学校体育館15か所の水漏れ	石野地区の面積は30.75km ² 、人口およそ3,700名で、その緊急避難場所は東広瀬小学校と石野中学校の2か所しかない。その石野中学校体育館は先日の大雨時に分かる範囲でも15か所の水漏れが発生した。これでは避難することができないので、天井の張替えを防災対策課に要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
101	新規	石野	豊田市富田町 自主避難所公民館脇U字溝のつまりによる県道片側浸水	豊田市富田町自主避難所公民館脇のU字溝が小さいため、雨が降るとオーバーフローを起こし県道11号豊田明知線の片側に流れ出し、片側をふさいで通行ができなくなってしまう。また、流れ出した土砂が近隣宅に溜まってしまう。住民の方がその都度対処しているが、エンドレスの作業状況となってしまう、過去何度かバキュームで吸い出してもらっていたが根本の解決になっていないのでサイズの大きいU字溝及び、大きい柵への取替えを要望する。

【松平地区】

連番	提出 状況	中学校区	要 望 事 項	具 体 的 内 容
102	新規	松平	豊田市松平体育館における競技場(アリーナ)への(冷暖房)空調設備の導入	豊田市松平体育館は、若年者から高齢者まで幅広い市民の利用がされているが、地球温暖化の影響により、夏の暑さ対策等が年々深刻化しており、大規模災害時の避難所施設としての環境整備も喫緊の課題であるため、同施設への空調設備の導入を要望する。

【藤岡地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
103	継続	藤岡	藤岡支所周辺道路網整備	<p>藤岡北部および小原地区西部と市街地を結ぶ道路として県道北一色東広瀬線が利用され、その途中まで片側一車線整備が完了しているものの、途中から幅員が狭小となっている。本県道は瀬戸市から豊田市への通勤の利用も多い。</p> <p>しかし、多くの車両は国道419号を利用し、藤岡南部や豊田市街地に移動をするため、道路狭隘部分で渋滞がある。</p> <p>藤岡飯野町交差点の交通量調査を実施し、現状を確認するとともに、幅員の広い市道の新設または現道拡幅を要望する。</p> <p>関連市道：60111 藤岡北一色迫線 60116 藤岡飯野迫線 60327 藤岡飯野駄知線</p>
104	継続	藤岡	藤岡木瀬瀬戸線道路拡幅	<p>藤岡木瀬瀬戸線は、藤岡北部や瀬戸市と、藤岡東部や小原地区を結ぶ道路として、多くの人々が利用をしている。</p> <p>また、藤岡地区の上水道の基幹施設である石飛配水場も本市道を利用して送水・管理をされている。</p> <p>しかし、道路途中から狭隘となっており、一部舗装がされていない区間もある。</p> <p>道路拡幅および路面舗装を要望する。</p> <p>関連市道：60108 藤岡木瀬瀬戸線</p>
105	継続	藤岡	藤岡地域核エリア整備	<p>支所・交流館の合築建替えを中心とした藤岡地域核エリアの整備について、令和4年にアクセス道路の整備を終え、一連の都市再生整備計画事業が完了したものの、以降の藤岡地域核エリアのまちづくりを推進していくための予算および計画が見受けられない。</p> <p>飲食店など商業店舗が減少を続け、子育て世代が他地区へ移り、人口減少、高齢化が加速する現状を看過すべきではなく、支所・交流館始めハード整備完了の節目を好機と捉え、藤岡地区として日常生活を支えるために必要な生活機能を整理し、地域核および居住促進地区としてのビジョンを示す計画の策定並びに持続可能な賑わい創出と地域資源の有効利用を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
106	継続	藤岡	石畳町坂下団地内の道路整備	石畳町坂下団地南東部の道路に一部舗装されていない区間がある。市道認定は受けていないものの、土地の大部分の所有者は豊田市となっている。 団地内の子どもも多く利用しており、また車両も通行するため、近隣住民による定期的な補修がなされているものの路面に大きな穴ぼこができてしまう。 早急な道路整備を要望する。
107	新規	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線改良整備は歩道もなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。 一部では改良を進めているものの、歩道のない区間も多く残る。また、グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であるため、早期の改良整備を要望する。 関連市道：60110 藤岡飯野広瀬線
108	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。令和元年8月24日国道419号4車線化整備促進期成同盟会を設立（4月26日総会において次期事業化個所は東海自動車道豊田藤岡インター西のロータリーから現道419号までと決定した。今後、本庁に要望）
109	継続	藤岡南	県道北一色東広瀬線田茂平地区歩道・横断歩道設置	歩行者の安全確保するため、早期の改良及び横断歩道の設置を要望する。 （令和3年4月21日愛知県豊田加茂建設事務所森道路整備課長と伊藤課長補佐、三宅田茂平自治区長始め役員様、鈴木県議と現地視察をした。）

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
110	新規	藤岡南	西中山町辻貝戸交差点改良工事	<p>広瀬工業団地、愛知県緑化センター、昭和の森へ国道からアクセスする市道との交差点で、特に国道南から西広瀬工業団地に向かう右折車両と国道北から通学する児童生徒の横断が交錯して渋滞が激しくなっている。</p> <p>また、東側高台に新たな住宅団地が販売を開始したことから、今後さらに朝夕の渋滞が予想されるので、右折車両信号の設置等早急な対策を要望する。</p>
111	継続	藤岡南	深見常楽交差点県道深見亀首線（北側）歩道設置	<p>国道419号に接続する路線（交差点）は、小・中学校の通学路としての利用を始め、高校生の通学やバス停へのアクセスなど、地域に幅広く利用されており、歩道の設置が早急に必要な交差点である。</p> <p>猿投神社方向の道路の片側（団地側）は児童が通学路として通行するもののポストコーンのみの設置となっている。安全向上が図られているものの、強度はなく防護柵としての役割はない。小・中学校の通学路でもあるのでガードレールもしくはガードパイプの設置を要望する。</p>

【小原地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
112	新規	小原	山村地域における移住定住に結び付く市営住宅の建設／小原地区	山村地域への移住定住の促進施策は、①空き家情報バンク②宅地供給などを中心に実施されているが、空き家の供給不足や宅地の絶対量の不足などから、結果的に移住定住が進んでいない現状がある。その打開策として、山村地域に限っては、今後も市営住宅を建設し、期限と対象者を定めて入居させる思い切った定住施策による子育て世代の移住定住促進策を要望する。
113	新規	小原	市有財産の有効活用／永太郎町、上仁木町	永太郎町の旧老人憩いの家の有効活用の検討促進を要望する。また廃園になった旧北栄こども園の再利用計画を早期に検討し、地域の活性化に繋がる施策を要望する。
114	新規	小原	四季の回廊ミュージアム構想（自然ふれあいゾーン整備）／川見町	四季の回廊ミュージアム構想は、地域資源を活かした観光交流拠点施設の整備事業であり、地域の活性化に欠かせない。中でも、川見四季桜の里の持続可能な景観整備の体制（行政＋地域＋外部ボランティア等）を確立することが最重要課題である。また、川見四季桜の里の田代川の左右両岸を回遊するルート of 整備に伴い、駐車場上流部に回遊用橋梁の整備を要望する。
115	継続	小原	市道築平川下線の改良／築平・川下町	国道419号と県道豊田明智線（小原、旭、足助地区の地域核）を結ぶ重要市道であるとともに、観光拠点である四季桜の里と香嵐渓などを結ぶ観光バス路線としての重要性も高い。観光シーズンにおける大型観光バスの通行を前提に地域住民等の車両と安全に対面通行または適宜待避所を設ける道路改良を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
116	継続	小原	四季の回廊ミュージアム構想（歴史交流ゾーン）／市場町ほか	市場城跡を中心にして、廣圓寺から西運寺および泥ぶち観音にかけての「歴史交流ゾーン」を整備し、小原ふれあい公園や四季桜公園などの「ふるさと交流ゾーン」と連続した観光スポットを整備することで、乗用車を使わないモビリティ手段（電動カー、自転車、徒歩など）による観光ルートを整備することを要望する。

【足助地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
117	継続	足助	香嵐渓100年プロジェクトの推進	令和6年に整備後100年を迎える香嵐渓飯盛山のモミジ類の生育環境の悪化や樹勢の衰えが懸念されることから、景観の質の維持、向上を図る整備を推進すること。あわせて、100年先まで景勝地として継承されるための仕組みづくりを地域とともに構築すること。 また、通年の観光地化を目指し、モミジ類の保全と併せて、カタクリ群生地等についても保全対策を講じること。
118	継続	足助	足助地域核エリア再生事業を踏まえたまちづくりの推進	平成30年度から令和4年度まで取り組んだ足助地域核エリア再生事業を踏まえ、持続可能な山村地域への転換を目指し、足助地域核エリアを中心に、空き家等を活用した事業創出やまちづくりの担い手の確保を目的とした事業者支援、情報発信、旧田口家整備事業などを引き続き推進すること。
119	継続	足助	山村地域を守る交通システム整備事業	急激な人口減少や後期高齢者の増加、地域バスの乗務員不足が続く山村地域に適応した持続可能な交通システムの確立を要望する。地域の生活に欠かせない移動手段を、多様な手段で確保することで、高齢者等交通弱者の自立した生活の支援と積極的な社会参加に繋げ、山村地域で暮らすあらゆる人の健康づくりと住み慣れた地域での快適な暮らしを実現する。
120	新規	足助	足助支所庁舎新築（建替え）の早期実現	足助支所の新築については、経済状況の悪化から延期されている状況にあるが、施設の老朽化が進み、災害時における拠点施設としては不安が残る状況であるため、早期に計画の再検討・実行に着手すること。なお、計画にあたっては、単なる支所の建替えではなく、これからの人口減少や超高齢社会を踏まえ、複合地域核としての足助地区、山村地域、豊田市全域といった視点からの支所機能のあり方を見出す必要がある。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
121	継続	足助	公共施設跡地等の未利用地の有効活用	旧愛知県東加茂事務所跡地（通称：陣屋跡地。足助町）、足助バイパス残土捨て場（富岡町）、老人ホーム跡地（近岡町）、足助保健所跡地（親王町）を始めとした公共施設跡地等の未利用地の有効活用が様々な要因で進捗していない。地域にとって有意義な活用方法の早期立案を要望する。
122	継続	足助	新盛里山耕第2期計画の早期着工と拠点施設「道の駅」建設	新盛里山耕は「里山くらし体験館ーすげの里ー」を拠点施設として「里山耕流塾」など都市と農山村の交流事業を展開している。平成19年に策定された山村活性化事業「里山耕」基本計画では、第2期拠点施設の建設が計画されているがリーマンショック等の影響で実現に至っていないことから早期の計画実現を要望する。

【下山地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
123	継続	下山	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴う宅地整備	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴い3,500人の従業員が働くことになる。地域の人口減少に歯止めをかけるために、従業員を下山地区に呼び込む住宅整備の実現に向けて宅地を確保出来るようにし、関係団体や事業者に働きかけることを要望する。
124	継続	下山	三河湖周辺の観光整備/羽布町	三河湖湖周辺は、下山地区の観光の核となっている。開催が予定されるWRCのSS会場にもなっており、世界に向けた放映も予定されているなど、注目を集めることが期待される。今後、アクティビティを中心とした観光に力を入れて行く計画であり、ネット環境や観光環境など三河湖を中心とした観光地としての整備を要望する。
125	新規	下山	通学困難者の定義の緩和	現在の通学困難者の定義では、山村地域の实情にあっておらず、距離は定義に達していないものの高低差が多いこと、集団下校もできず保護者が送り迎えしなければならない現状もあり、地域の实情に合わせて校長やコミュニティスクールなどに権限を持たせて補助などができやすいようにしていくことを要望する。
126	新規	下山	保健福祉センターゲートボール場の整備	下山地区で唯一のグラウンドゴルフを高齢者の皆さんがされている憩いと交流の場であるが、定期的に皆さんで草取りなど管理をしているものの、野生動物の侵入などにより荒らされるなど苦勞をされており、柵の整備とグラウンドの再整備を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
127	継続	下山	市道、代官屋敷・石坂線の拡幅 ／大沼町	<p>県道作手善夫大沼線において、大沼の街中の道路が狭隘であるが、幹線道路であり交通量が多い。道路の拡幅や歩道整備もできない道路事情から交通事故への危険度も高い。そこで、街中を避けて迂回する必要性があり、市道代官屋敷・石坂線の拡幅はすれ違いもままならない状況から生活道としても危険であり道幅の拡幅等の対策が必要である。車両、歩行者の安全確保の両面から、道路の拡幅を要望する。</p>

【旭地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
128	新規	旭	獣害による農道及び市道の保全	農道及び市道の路肩や法面が、イノシシなどにより掘り起こされるなどの被害を受けている。そのまま放置されれば、道路としての機能を失う恐れがあることに加え、日常の草刈り等の維持管理が今以上に困難な状況になっていく。道路修繕費の拡充や獣害対策費の創設等により、迅速かつ適正に道路が管理されることを要望する。
129	継続	旭	笹戸温泉の再活性化	笹戸温泉は、以前5店舗以上あった宿泊施設は現在では0店舗となり飲食店が1店舗と衰退化が進んでいる。2026年に開催が予定されているアジア競技大会のカヌー競技開催地となっていることから、旭地区の玄関口である笹戸地域の再活性化の取組がなされることを要望する。また近年は他の温泉地などで、廃業施設等への不法侵入や不審火が発生していることもあり地域の安全づくりは喫緊の課題であると考えます。
130	継続	旭	定住対策の促進	旭地区の過疎化対策として、市営住宅を山村活性化住宅として活用しやすくしたことは、一定の効果があったと認識している。地域で空き家バンクの発掘が困難な状況にある中で、定住対策を進めて行くためにも、土砂災害特別警戒区域の指定に基づき使用制限されている杉本住宅4戸の活用に向けた調査の実施、若しくは、それに代わる施設の整備を要望する。あわせて、笹戸住宅で募集を中止している市営住宅1戸の早期修繕を要望する。
131	継続	旭	観光における旭高原元気村の拠点化の推進	今年も世界ラリー選手権が開催される。地域経済を活性化させるため、観光業等の振興を図る必要がある。旭高原元気村は、観光拠点施設として認知されているが、施設が老朽化して利用者が減少傾向にある。キャンプ施設の一部改修など利用者増加の取組も行われているが、元気村施設全体の老朽化は進行しており、施設の再整備も含め、観光資源の活用によるさらなる活性化を図ることを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
132	継続	旭	県道豊田明智線小渡交差点改良工事	<p>小渡町は、旭地区の地域核として公共機関・経済機能が集約された地域であり、地域を縦断する県道豊田明智線は、地域住民や通過車両にとっての主要道路として利用されている。中でも小渡交差点は、道路幅が狭くボルトネック形状となっており、歩道幅も狭いため、往来する車両と歩行者との距離が近い。現在、ダムの残土運搬による大型車両の往来が増加している。今後、浅谷トンネルの開通による交通量の増加も懸念されるため、早急な対応が必要である。</p>

【稲武地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
133	継続	稲武	自然エネルギーの先進地域としての位置づけと先進施設整備	稲武地区は、中部電力の揚水発電所、市管理の面ノ木風力発電所、大井平公園小水力発電施設、自治区が導入主体となった小水力発電施設が設置されており、民・官による、再生可能エネルギー利活用の先進地域となっている。そのうち、風力発電については、令和7年度に現在のFIT契約が期限を迎えることから、固定価格買取制度の条件がなくなってしまう。電気料金が高騰している昨今、現在の風力発電施設の更新を要望する。
134	継続	稲武	養蚕製糸の文化を産業化するための支援	伊勢神宮献糸や大嘗祭「繪服（にぎたえ）」に使われる伝統ある稲武地区の「赤引糸」を大切な財産と位置付け、養蚕製糸の普及・振興を行ってきた。令和2年3月に「稲武地区養蚕・製糸文化伝承事業実行委員会」が立ち上がり文化伝承の礎は出来上がってきた。今後持続的に発展させていくためには産業としての活用が必要だと考える。その前段として若者やコンサルタントの協力を検討し同委員会の活性化に向けた、今後の展開のための支援を要望する。
135	新規	稲武	どんぐりバスのお買い物バスとしての試行運行	稲武地区では、高齢化率が53%を超えている。免許返納される高齢者も増えて、日々の買い物にも不便を感じている。新たに地域内4路線において曜日ごとにお買い物バスを運行できれば高齢者の買い物支援となる。デマンドバスのバス停を利用することにより自宅近くのバス停を利用でき店舗のそばまで行けるので、利用の増加及び利便性の向上が期待できるため、さらなる施策を要望する。
136	新規	稲武	稲武どんぐり工房へ安全に入館するためのバリアフリー動線の整備	体験型観光施設どんぐり工房ではコロナ禍により体験利用者も落ち込んだが、令和4年度には利用者8,392人、体験者2,662人と回復基調にある。現在主要な入口が建物北側の交通結節点からの傾斜のきつい階段であり、高齢者からは改善要望が出ている。また、バリアフリー化もされていない。今回、どんぐりの湯対面の多目的広場が臨時駐車場として舗装されたことを機に、南側からのバリアフリー化された入口を整備するよう要望する。

連番	提出状況	中学校区	要 望 事 項	具 体 的 内 容
137	継続	稲武	稲武地区における小中一貫校の調査・研究	<p>今後の少子化対策として、少子化が進む地域の実情や地域特性を踏まえ、児童生徒にとってより良い学習環境を提供し、都市部と変わらない環境を確保するため、複式学級と一貫校の良い点、悪い点を調査・研究すべきであり、積極的な対応を求める。現時点で小学校1校、中学校1校である稲武地区の状況を踏まえるとともに、中学校のクラブ活動の地域移行も併せて、調査・研究を始めとした先進的な取組を要望する。</p>